

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年2月13日

上場会社名	アンドール株式会社	上場取引所	東
コード番号	4640	URL	http://andor.co.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)栗原 高明	
問合せ先責任者	(役職名)管理本部長	(氏名)埴 勝宏	(TEL)03(3419)3011
四半期報告書提出予定日	2020年2月14日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,163	—	80	—	88	—	347	—
2019年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	67.10	—
2019年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2019年3月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2019年3月期第3四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,864	2,058	71.9
2019年3月期	2,291	1,711	74.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,058百万円 2019年3月期 1,711百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,900	4.2	165	△48.2	170	△47.7	380	87.0	73.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	5,184,140株	2019年3月期	5,184,140株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	6,289株	2019年3月期	6,289株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	5,177,851株	2019年3月期3Q	5,177,851株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、人手不足に対応した省力化投資や東京オリンピック・パラリンピックに向けた建設需要を中心とした設備投資が引き続き底堅い動きを見せるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、長期化する米中貿易摩擦の影響で、輸出・生産の一部に弱さが露呈したことに加え、消費税増税による駆け込み需要の反動減など、企業の景況感に陰りが出ており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、独自のソリューションで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しております。

当社は、2019年4月1日付で連結子会社であるアンドールシステムズ株式会社を吸収合併したことにより、第1四半期決算において、抱合せ株式消滅差益287,122千円を計上するとともに、第1四半期累計期間から非連結での業績開示を行う運びとなりました。また、当会計年度期首より、退職給付債務の算定方法を簡便法から原則法へ変更したことにより、第1四半期決算において、退職給付費用（退職給付債務の計算方法変更による差額費用）として117,031千円を売上原価に、25,126千円を販売費及び一般管理費にそれぞれ計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は2,163,587千円、営業利益は80,965千円、経常利益は88,141千円、四半期純利益は347,409千円となりました。

なお、前第3四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

※参考：2019年3月期第3四半期連結業績に対する前年同期比は、売上高4.7%増、営業利益63.2%減、経常利益61.0%減、四半期純利益135.9%増となります。

セグメントごとの業績は下記のようにしております。

#### I エンジニアリング事業

業務系・制御系・LSI設計・回路設計・機械設計等の豊富な経験を持つ技術者が、ソフトウェア開発からアウトソーシング・技術者派遣まで、多方面にわたる設計サービス分野において、総合エンジニアリングサービスを行っております。

技術者工数の確保により売上高は堅調な推移となったものの、退職給付債務の算定方法変更に伴う人件費増加等の影響により、この事業の売上高は1,620,585千円となり、経常利益は25,812千円となりました。

※参考：2019年3月期第3四半期連結業績に対する前年同期比は、売上高2.4%増、経常利益82.1%減となります。

#### II プロダクツ事業

自社の開発商品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用・受託開発を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元CADシステム「CADSUPER Works」、2.5次元CAMソフト「CAMCORE EX」等のCAD/CAM関連製品を主力製品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品を販売し、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

受託開発としては、自社CADソフトのカスタマイジングを始め、当社の3D技術を活かしたソフトウェア開発を行っております。

消費税増税に伴う駆け込み需要や、設備投資需要の高まりを受け、主に製造業へのCADソフト販売が好調であり、自社製品売上高が伸長したものの、退職給付債務の算定方法変更に伴う人件費増加等の影響により、この事業の売上高は526,515千円となり、経常利益は57,268千円となりました。

※参考：2019年3月期第3四半期連結業績に対する前年同期比は、売上高12.7%増、経常利益20.3%減となります。

### Ⅲ 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

不動産稼働率の減少により、この事業の売上高は16,486千円となり、経常利益は5,061千円となりました。

※参考：2019年3月期第3四半期連結業績に対する前年同期比は、売上高8.1%減、経常利益49.0%減となります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、ソフトウェアの減少（115,048千円から81,015千円へ）34,032千円、投資有価証券の減少（221,544千円から174,501千円へ）47,043千円等があったものの、現金及び預金の増加（1,241,236千円から1,553,150千円へ）311,913千円、受取手形及び売掛金の増加（376,534千円から404,001千円へ）27,467千円、建物（純額）の増加（22,822千円から108,288千円へ）85,465千円、土地の増加（28,400千円から189,346千円へ）160,946千円、繰延税金資産の増加（78,659千円から136,070千円へ）57,410千円等により、前事業年度末に比べ572,936千円増加の2,864,077千円となりました。

負債は、買掛金の減少（68,528千円から54,005千円へ）14,523千円、未払法人税等の減少（48,601千円から8,492千円へ）40,109千円等があったものの、未払費用の増加（35,833千円から61,563千円へ）25,730千円、前受金の増加（117,610千円から133,329千円へ）15,718千円、退職給付引当金の増加（166,069千円から391,777千円へ）225,708千円等により、前事業年度末に比べ225,634千円増加の805,616千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円等があったものの、四半期純利益の計上347,409千円により、前事業年度末に比べ347,301千円増加の2,058,461千円となり、自己資本比率は71.9%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月14日公表の「第2四半期業績予想値と実績値の差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,241,236	1,553,150
受取手形及び売掛金	376,534	404,001
商品及び製品	460	2,650
仕掛品	948	14,014
貯蔵品	5,999	5,237
前払費用	51,658	70,579
預け金	12,762	22,293
未収入金	2,323	31,231
その他	1,019	4,666
流動資産合計	1,692,943	2,107,825
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	22,822	108,288
工具、器具及び備品（純額）	4,367	4,313
土地	28,400	189,346
有形固定資産合計	55,590	301,949
無形固定資産		
ソフトウェア	115,048	81,015
ソフトウェア仮勘定	3,041	41,561
電話加入権	3,131	3,219
無形固定資産合計	121,221	125,796
投資その他の資産		
投資有価証券	221,544	174,501
関係会社株式	103,200	-
破産更生債権等	-	698
敷金	15,731	15,685
会員権	9,475	9,475
繰延税金資産	78,659	136,070
貸倒引当金	△7,225	△7,923
投資その他の資産合計	421,385	328,506
固定資産合計	598,198	756,252
資産合計	2,291,141	2,864,077

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	68,528	54,005
未払金	41,841	40,641
未払費用	35,833	61,563
未払法人税等	48,601	8,492
未払消費税等	27,628	38,159
前受金	117,610	133,329
預り金	5,016	17,892
賞与引当金	60,190	49,074
その他	1,962	2,070
流動負債合計	407,213	405,228
固定負債		
退職給付引当金	166,069	391,777
役員退職慰労引当金	6,699	6,810
その他	-	1,800
固定負債合計	172,768	400,388
負債合計	579,981	805,616
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金		
利益準備金	29,195	30,748
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,166,816	1,497,139
利益剰余金合計	1,196,011	1,527,887
自己株式	△1,910	△1,910
株主資本合計	1,695,991	2,027,866
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,168	30,594
評価・換算差額等合計	15,168	30,594
純資産合計	1,711,159	2,058,461
負債純資産合計	2,291,141	2,864,077

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	2,163,587
売上原価	1,692,194
売上総利益	471,393
販売費及び一般管理費	390,427
営業利益	80,965
営業外収益	
受取利息	294
受取配当金	6,337
固定資産賃貸料	378
雑収入	305
営業外収益合計	7,315
営業外費用	
支払利息	126
雑損失	12
営業外費用合計	139
経常利益	88,141
特別利益	
投資有価証券売却益	1,518
抱合せ株式消滅差益	287,122
特別利益合計	288,640
特別損失	
投資有価証券売却損	5,975
特別損失合計	5,975
税引前四半期純利益	370,806
法人税、住民税及び事業税	54,514
法人税等調整額	△31,117
法人税等合計	23,397
四半期純利益	347,409



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	エンジニアリング事業	プロダクツ事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,620,585	526,515	16,486	2,163,587	2,163,587
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,620,585	526,515	16,486	2,163,587	2,163,587
セグメント利益	25,812	57,268	5,061	88,141	88,141

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。